

# Ⅰ 調査の概要

## 1 調査の目的

近年、社会経済情勢の変動や、少子高齢化の進展、家族形態の多様化など、時代の変化が急速に進む中で、性別による固定的な役割分担の意識にとらわれず、一人ひとりの個性が尊重され、家庭・地域・職場などのあらゆる分野への参画と能力発揮の機会が等しく保障される豊かで活力に満ちた地域社会をつくっていく必要があります。

この調査は、玉村町において社会のあらゆる分野で男女が共に参画できるまちづくりを実現するため、住民の意識と実態とを把握し、今後、町が取り組むべき施策の基礎資料とすることを目的に実施しました。

## 2 調査の方法

(1) 調査地域 玉村町全域

(2) 調査対象

ア) 対象者及びサンプル数：玉村町在住の20歳以上の男女  
1,000人(男女各500人)

イ) 抽出方法：性・年代別サンプル数が均等になるように住民基本台帳  
(平成14年10月1日現在)による無作為抽出

(3) 調査方法 郵送配布・回収によるアンケート調査(礼状兼督促状1回  
送付)

(4) 調査時期 平成14年11月15日～29日

## 3 調査の項目

調査項目	調査のねらい	設問	調査内容
プロフィール (7問)		F 1	性
		F 2	年代
		F 3	家族構成
		F 4	結婚の経験
		F 5	夫婦の働き方
		F 6	子どもの有無
		F 7	子どもの年齢
- 1 - 男女平等意識 (2問)	各分野における男女平等についての意識を把握する	問 1	各分野における男女の平等感
		問 2	女性が職業をもつことについての考え方
- 2 - 結婚・家庭観 (2問)	結婚・家庭観や性別役割分業に対する意識、併せて現状を把握する	問 3	結婚・子どもをもつこと・離婚についての考え方
		問 4	家庭内の役割分担状況

- 3 - 子育て ( 2 問 )	子育てについての現状・意向を把握し、必要な支援策を把握する	問 5	子育てについての考え方
		問 6	子育てにあたり困っていること
- 4 - 老後生活と介護 ( 2 問 )	老後の生活や介護に対する意向を把握する	問 7	老後の生活への不安
		問 8	自分の介護を希望する相手
- 5 - 仕事と職場 ( 5 問 )	職業・働き方の現状・意向を把握し、男女が家庭と仕事をともに担うための必要な支援策を探る	問 9	現在就いている職業
		問 10	非正規雇用で働く理由
		問 11	就業意向
		問 12	希望する働き方
		問 13	男女が家庭と仕事ともに担う社会環境に重要なこと
- 6 - 女性と人権 ( 7 問 )	メディアの性・暴力表現やドメスティック・バイオレンス、セクシャル・ハラスメントなどの問題への考え方を把握し、女性に対する暴力の対策を探る	問 14	D V 防止法に関する周知度について
		問 15	女性に対する暴力の経験
		問 16	暴力を受けたときの相談
		問 17	相談しなかった理由
		問 18	女性に対する暴力をなくすために必要なこと
		問 19	メディアにおける性・暴力表現に対する考え方
- 7 - 女性の社会参画 ( 3 問 )	社会的活動や政策方針決定過程への参画の現状と意向を把握し、男女共同参画社会の実現に向けた施策を探る	問 21	女性の政策方針決定過程への参画
		問 22	女性が政策方針決定過程に参画していない理由
		問 23	各分野での女性の参画を進めるために重要なこと
		問 24	男女共同参画社会形成のために町に求められる施策
- 8 - 町の施策 ( 2 問 )	男女共同参画社会形成に向けた施策に対する要望を把握する	問 25	町に対する意見・要望について (自由回答)

#### 4 回収結果

	標本数	有効回収数	有効回収率
全体	1,000	537	53.7%
女性	500	295	59.0%
男性	500	242	48.4%
不明	-	6	-

## 5 回答者の構成

### 1. 男女比・年代

回答者の男女比をみると、「女性」が 54.9%、「男性」が 45.1%となっています。平成 14 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳による 20 歳以上の男女の構成比は、「女性」は 49.9%、「男性」は 50.1%であるため、本調査は女性からの回答が多かったこととなります。

回答者の年代をみると、「70 代以上」が 19.7%と最も多く、「60 代(19.2%)」、「40 代、50 代(ともに 17.5%)」がそれに続きます。平成 14 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳による 20 歳以上の年代別構成比と比較すると、本調査は「40 代」「50 代」「60 代」「70 代以上」からの回答が多かったこととなります。

#### < 性・年齢別 >

区分	実数(人)			構成比(%)		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
20 歳代	66	36	30	12.3%	6.7%	5.6%
30 歳代	74	44	30	13.8%	8.2%	5.6%
40 歳代	94	55	39	17.5%	10.2%	7.3%
50 歳代	94	50	44	17.5%	9.3%	8.2%
60 歳代	103	58	45	19.2%	10.8%	8.4%
70 歳以上	106	52	54	19.7%	9.7%	10.1%
計	537	295	242	100.0%	54.9%	45.1%

《参考》住民基本台帳における 20 歳以上の男女別人口比  
(平成 14 年 10 月 1 日現在)

実数(人)			構成比(%)	
全体	女性	男性	女性	男性
27,181	13,562	13,619	49.9%	50.1%

20 歳～79 歳の人口より構成比を算出

《参考》住民基本台帳における年代別人口数及び構成比  
(平成 14 年 10 月 1 日現在)

	実数(人)		構成比(%)	
	女性 (N=13,562)	男性 (N=13,619)	女性	男性
20 代	2,605	2,593	19.2%	19.0%
30 代	2,937	2,851	21.7%	20.9%
40 代	2,698	2,909	19.9%	21.4%
50 代	2,644	2,904	19.5%	21.3%
60 代	1,540	1,436	11.4%	10.5%
70 代以上	1,138	926	8.4%	6.8%

「70 代以上」は、70 歳～79 歳の人口より構成比を算出

## 2. 家族構成

家族構成をみると「二世帯同居（親と子が同居）」が 47.5%と最も多く、次いで「夫婦のみ（事実婚を含む）（27.2%）」が続きます。

< 家族構成別 >

	実数（人）			構成比（％）		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
一人暮らし	26	14	12	4.8%	2.6%	2.2%
夫婦のみ	146	73	73	27.2%	13.6%	13.6%
二世帯同居	255	138	117	47.5%	25.7%	21.8%
三世帯同居	77	43	34	14.3%	8.0%	6.3%
その他	27	22	5	5.0%	4.1%	0.9%
不明	2	2	0	0.4%	0.4%	0.0%
無回答	4	3	1	0.7%	0.6%	0.2%
計	537	295	242	100.0%	54.9%	45.1%

## 3. 結婚の経験

結婚の経験をみると、《既婚》（「結婚している」「結婚していないが同居しているパートナーがいる」の合計）が、79.3%で全体の約8割を占めています。

男女別にみると、《未婚》（「結婚していない」）の割合は、男性（7.1%）が女性（3.5%）よりも多くなっています。

< 結婚の経験 >

	実数（人）			構成比（％）		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
結婚している	419	230	189	78.0%	42.8%	35.2%
結婚していないが同居しているパートナーがいる	7	5	2	1.3%	0.9%	0.4%
結婚したが離別した	19	16	3	3.5%	3.0%	0.6%
結婚したが死別した	34	24	10	6.3%	4.5%	1.9%
結婚していない	57	19	38	10.6%	3.5%	7.1%
不明	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	1	1	0	0.2%	0.2%	0.0%
計	537	295	242	100.0%	54.9%	45.1%

## 4. 夫婦・パートナーの働き方

夫婦・パートナー同士の働き方をみると、「共働きである」が 45.8%にのぼり、全体の約半数を占めています。次いで「夫／男性だけ働いている（28.0%）」が続いています。

男女別にみると「共働き」の割合は、男性（18.5%）より女性（27.3%）が多くなっています。

< 夫婦・パートナーの働き方 >

	実数（人）			構成比（％）		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
夫／男性だけが働いている	121	61	60	28.0%	14.1%	13.9%
妻／女性だけが働いている	9	2	7	2.1%	0.5%	1.6%
共働きである	198	118	80	45.8%	27.3%	18.5%

働いていない	91	49	42	21.1%	11.3%	9.7%
不明	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	13	9	4	3.0%	2.1%	0.9%
計	432	239	193	100.0%	55.3%	44.7%

## 5. 子どもの有無

既婚者のうち《子どもがいる》(「男の子だけいる」「女の子だけいる」「男の子も女の子もいる」の合計)人の割合は、全体の81.2%となっています。

<子どもの有無>

	実数(人)			構成比(%)		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
男の子だけいる	141	77	64	26.3%	14.3%	11.9%
女の子だけいる	93	55	38	17.3%	10.2%	7.1%
男の子も女の子もいる	202	121	81	37.6%	22.5%	15.1%
いない	88	37	51	16.4%	6.9%	9.5%
不明	1	1	0	0.2%	0.2%	0.0%
無回答	12	4	8	2.2%	0.7%	1.5%
計	537	295	242	100.0%	54.9%	45.1%

## 6. 末子の成長段階

子どもがいる回答者の末子成長段階をみると、「社会人」が57.7%で最も多く、《就学前》(「1歳未満」「1～3歳未満」「3歳以上の未就学児」の合計)は、女性で10.0%、男性で5.7%となっています。

<末子の成長段階>

	実数(人)			構成比(%)		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
1歳未満	10	4	6	2.3%	0.9%	1.4%
1～3歳未満	27	18	9	6.1%	4.1%	2.0%
3歳以上の未就学児	32	22	10	7.3%	5.0%	2.3%
小学校1～3年	28	18	10	6.4%	4.1%	2.3%
小学校4～6年	22	14	8	5.0%	3.2%	1.8%
中学生	16	14	2	3.6%	3.2%	0.5%
高校生以上の学生	40	18	22	9.1%	4.1%	5.0%
社会人	254	141	113	57.7%	32.0%	25.7%
不明	2	1	1	0.5%	0.2%	0.2%
不記入	9	5	4	2.0%	1.1%	0.9%
(合計)	440	255	185	100.0%	58.0%	42.0%

## 《比較・引用調査》

- (1) 群馬県 「男女共同参画社会に関する県民意識調査」(平成11年11月)
- (2) 内閣府 「男女共同参画社会に関する世論調査」(平成14年7月)
- (3) 伊勢崎市 「男女共同参画社会に関する市民アンケート」(平成12年12月)
- (4) 榛東村 「男女平等社会に関する村民意識調査」(平成12年9月)